

空は青々

校長室だより 令和6年10月4日 NO. 19 校長 高橋 理香

大崎地区新人大会を終えて

9月21～26日に開催された大崎地区新人大会。大会に出場した1・2年生の選手はもちろん、控えの選手も含め、岩中生一人ひとりが自信と誇りをもって光り輝いた2日間でした。岩出山中学校を応援してくださったすべての方々に感謝申し上げます。子どもたちを支えていただき、ありがとうございました。

報告会では、次のことを話しました。

大崎地区新人大会に出場した1・2年生のみなさん、岩出山中学校の代表としてよくがんばりました。今回は、雨の影響があり、選手のみなさんは、集中力の持続がとても難しかったと思います。それでも、一生懸命にがんばっているみなさんの姿にとても感動しました。賞状を手にしたみなさん、おめでとうございます。悔しい思いをしたみなさん、リベンジは中総体です。この冬の努力は、必ず来年の中総体につながります。自分を、仲間を信じて、さらにがんばってください。

さて、今回の新人大会で、私が感動したことを二つ紹介します。一つ目は、朝早く見送りに来てくれた3年生の姿です。二つ目は、現地でみなさんを応援する、卒業生や3年生の保護者の姿です。自分のことや自分の子ども、自分の学年のことを応援するのはあたりまえのことだと思います。しかし、自分のことだけではなく、後輩のことを思う先輩、保護者の方々の岩中愛に感動しました。人は、決して一人では生きてはいけません。誰かの応援があるからこそ、がんばっていけるのです。壮行式の時に私が話した、「すべての人に感謝の気持ちを持ち、周りから応援される選手、応援されるチーム」、この姿をぜひこれからも継続してほしいと思います。さあ、次の目標は岩中祭です。

